

2026
広島大学
オープン
キャンパス

教科書で見たことある！

広島大学図書館 とっておきセレクション



広島大学図書館
デジタルアーカイブ



広島大学図書館が所蔵する貴重な古典籍資料から、教科書で見聞したことがある作品を中心にをご紹介します。



2026年8月5日（水）・7日（金）
広島大学中央図書館



D

デジタル公開

R

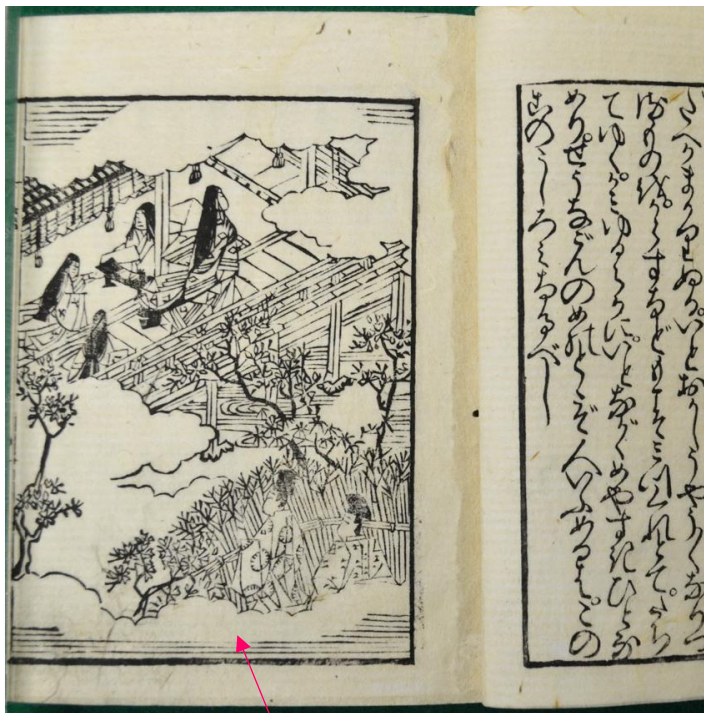
レブリカ展示

絵入源氏物語

日本の長編小説『源氏物語』。
広島大学でも源氏物語関連の古典籍
を数多く所蔵しています。

この『絵入源氏物語（版本）』は、
江戸時代に数多く刊行された源氏物
語のうちのひとつです。江戸時代の
出版のほとんどが、版木に文字を刻
んで紙に写し取る版本というもので、
平安時代末に作られた源氏物語絵巻
等とは異なる江戸時代風の挿絵が描
かれています。

これは「若紫」巻の、北山で垣根
越しに光源氏が紫の上を見初める場
面。教科書でもおなじみの「すずめ
の子をいぬきがにがしつる、ふせご
のうちにこめたりつるものを」とい
う詞書も添えられています。



ここから垣根越しに見ているのが光源氏。
垣間見(かいまみ)でひとめぼれした有名
なシーンです。

奈良絵本

奈良絵本とは、主に室町時代後期から江戸時代中期にかけて作られた絵入りの写本です。金箔なども施した美しいものが多く、嫁入り本とも呼ばれます。当館でもいくつかの貴重な奈良絵本を所有しており、デジタルデータで翻刻や解説とともに閲覧することができます。

広島大学図書館
デジタルアーカイブ
奈良絵本



在原業平に擬した主人公の初冠から死までを流麗な和文と和歌を盛り込んで描いた平安時代の歌物語。連れ出した女を鬼に一口で食われる芥川の章段や、筒井筒で遊んだ幼馴染との恋の章段などが有名です。

伊勢物語



すゝめの夕かほ



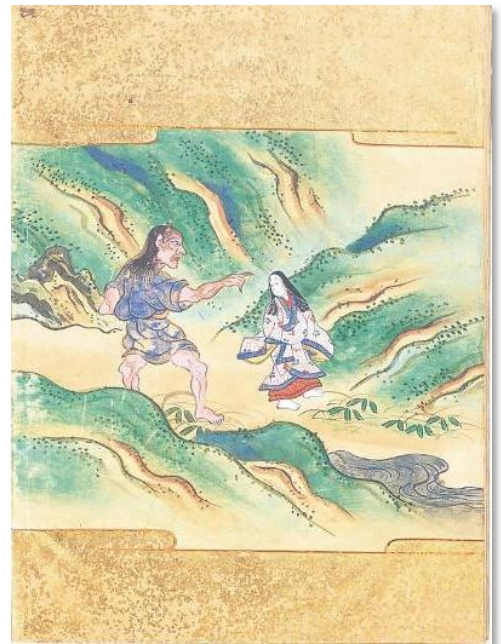
『宇治拾遺物語』巻三の16「雀報恩事」を奈良絵本にしたもの。前段が善因善果、後段が悪因悪果の話という対照をなす「腰折れ雀」という物語で、よく知られるおとぎ話「舌切雀」はその類話。広島大学蔵本は、国内で現存する唯一の伝本です。

花世姫



文学部で展示中

継子物の代表作で、継母に疎まれた花世姫が山姥の助けを得て幸福になる物語。シンデレラ物語が想起されるという指摘もあります。広島大学蔵本は、国内で現存する唯一の写本です。



Take Free

ポストカードを
配布しています（無料）
記念にどうぞ



絵本豊臣勲功記

D



江戸時代後期、歴史や伝説に取材し、勧善懲悪、敵討ち、武勇を歯切れのよい文章で描く読本という文芸が隆盛しました。

この「絵本豊臣勲功記」は、安政2年（1855）から明治15年（1882）まで、80冊刊行され続けた長編の読本です。

今年のNHK大河ドラマの主人公、豊臣兄弟とその周辺人物を描く群像劇であり、秀吉が天下を取り、豊臣の繁栄する時代の名高いエピソードが挿絵とともに次々と登場します。

信長、風雪の蚤朝（あした）に莅（のぞ）みて藤吉郎が至忠を感じず（初編巻四）

雪の積もる早朝、馬に乗るために玄関に出た信長が、玄関にうずくまる藤吉郎を見つけ、いつもより早くともちゃんと控えておくのが家来の務めだという藤吉郎に感心する場面。

よく知られたエピソードのように、草履を懷で温めたことは記されていないようです。



絵本豊臣勲功記



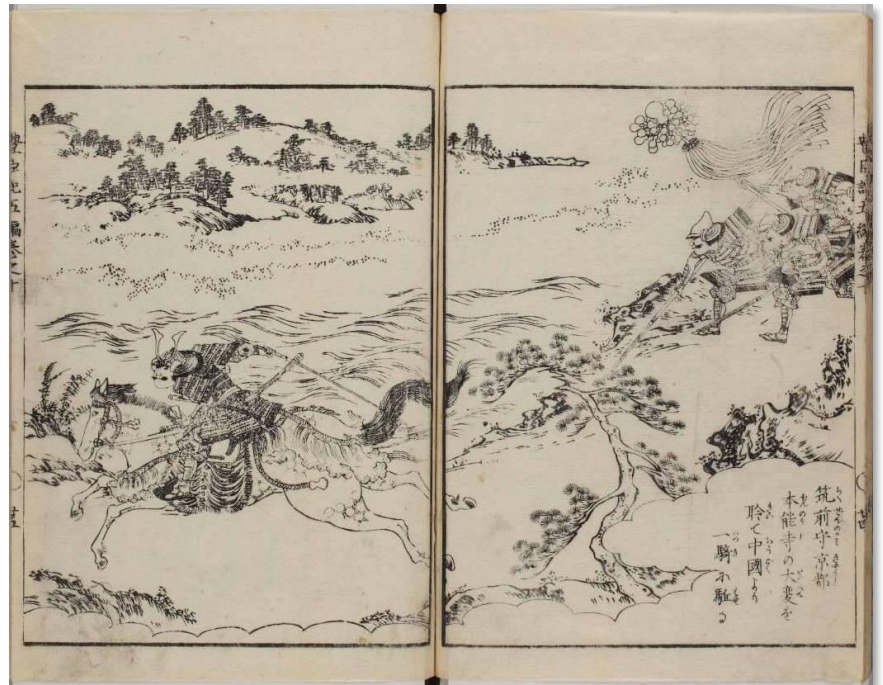
筑前守、京都本能寺の大変を聴て中國より一騎に駈ける（五編巻十）

備中高松城の戦いにあった秀吉は、本能寺の変での信長自害の報を受け、明智光秀を討つため、全軍を京に向けて移動させました。

備中高松城（岡山）から京都までの230kmを10日間で踏破した強行軍（中国大返し）として知られます。



国書データベース



蔦屋重三郎



蔦屋重三郎（蔦重）は、江戸時代中期の版元（出版社）です。2025年にはNHK大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」のモデルにもなりました。

広島大学では、蔦重の刊本「うつら衣」「三教色」「古契三娼」「三教色」「悪七變目景清」「御茶漬十二因縁」「家内手本用心蔵」「か祢のなる木」「冠言葉セツ目」「がんとり帳」「大通天王」「鼻下長生薬」「小野篁地獄往来」など21点を所蔵しています。



↑ 蔦屋の版元印

本のどこにあるのか
レプリカで探してみましょう



「小野篁地獄往来」

刊本/全1冊/著：山東京伝・北尾政演画/
地獄を行き来した小野篁のお話です



広島大学図書館
デジタルアーカイブ

グーテンベルク聖書（複製）

火薬、羅針盤と並ぶルネサンスの三大発明とは…？ 答は、**活版印刷術**です。



15世紀中頃、ドイツのヨハネス・グーテンベルク（1397?-1468）は、1冊の本を作るのと同じ時間でたくさんの本を作るという着想から、四十二行聖書と呼ばれる美しい彩色のラテン語聖書を完成させました。これが世界最古の活版印刷の本として、グーテンベルク聖書とも呼ばれているものです。

15世紀当初に出版されたのは200冊ほどですが、現存する完本は世界で48部といわれ、国内では慶應義塾大学が1部所蔵しています。

広島大学所蔵本は、1977年にミュンヘンで刊行された限定895部のファクシミリ（複製）版で、328のシリアルナンバーが入っています。

レオナルド・ダヴィンチ「フランス学士院蔵パリ手稿」（複製）

ダヴィンチが30歳前から最晩年にいたるまでの、読書、観察、実験、研究などから得たものを克明に記録したもの。その内容は、美術の諸分野、自然科学、機械、土木、軍事など多岐にわたり、現在、その多くの部分が散失し、全体の5分の1程度にあたる約5000葉がヨーロッパ各地に分散所蔵されています。

この「パリ手稿」は、1796年にナポレオンによってミラノのアンブロジアーナ図書館からフランスに移されたものであり、フランス学士院に所蔵されています。日本版（複製）は1995年に岩波書店から刊行されたものです。



このヘリコプターの図案が、かつてANA（全日空）のマークとして使われていました。これは昭和時代の機体の尾翼です。

植物学者・昆虫学者であったウィリアム・カーティス(1746-1799)が、1787年にロンドンで発行を始めた外来種の観葉植物に関する雑誌です。

彩色された美しい図版付きの最も古い植物学雑誌として知られており、中央図書館貴重資料室には1848年までの原本を保存しています。なお、雑誌はカーティスの死後も変遷を経て現在まで発行され続けています。

大航海時代のヨーロッパでは、未知の植物を探し出し持ち帰ることを目的に採集する植物の専門家「プラントハンター」が活躍しました。英国王立キュー植物園から派遣された最初の公式プラントハンターであるフランシス・マッソン(1741-1805)は多くの功績を遺しましたが、海外採集の旅程は、他国軍に捕まり海賊に襲われる厳しいもので、最期は採集先で病死したとも凍死したともいわれています。

この雑誌に掲載された植物の多くは、彼らの苦難の道のりによって海外からもたらされたもののなのです。



Camellia Japonica (ツバキ)



▲ Strelitzia reginae
(ストレリチア：極楽鳥花)



▲ Lilium Japonicum (ササユリ)



Hibiscus Rosa Sinensis
(ハイビスカス) ▶

マッソンが南アフリカで発見し、イギリスへ送った植物の1つ。イギリスで初めて開花した時には社交界で大変な評判になりました。学名にジョージ三世の王妃の出身家の名前がつけられたことから、当時この植物がとても注目されていたことがうかがわれます。

Take Free

ポストカードを
配布しています(無料)
記念にどうぞ



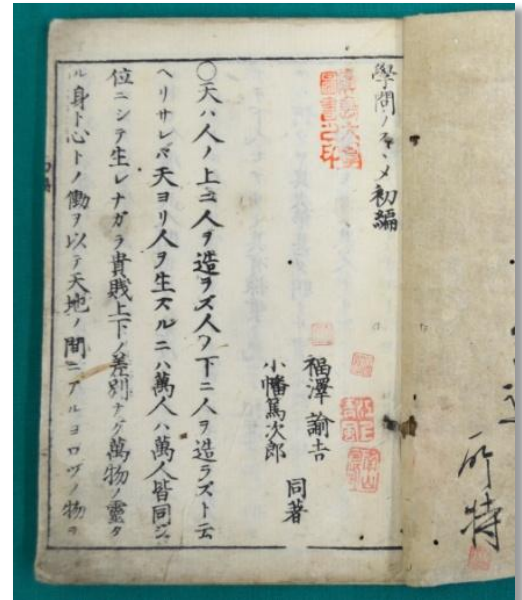
教科書コレクション

当館では、江戸時代の寺子屋で使われた往来物から現代までの、初等教育から高等教育までの教科書を体系的に所蔵しており、うち、第二次世界大戦直後までの約4,400点を「教科書コレクション」としてデジタルデータで公開しています。

広島大学図書館
デジタルアーカイブ
教科書コレクション

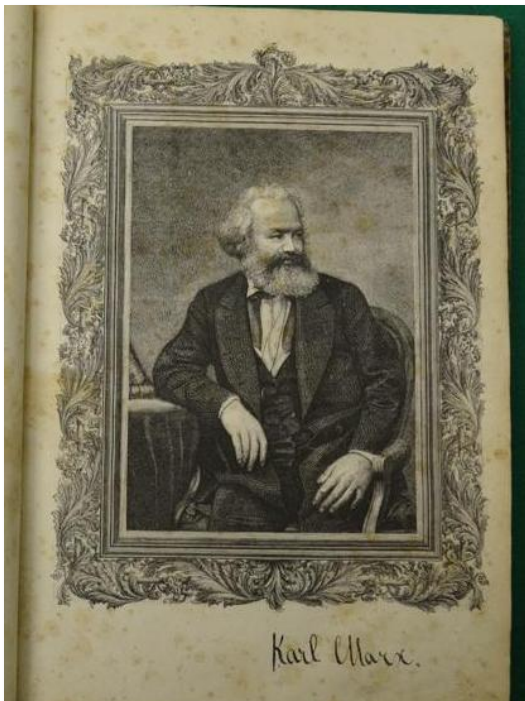


福澤諭吉「学問のすゝめ」



明治4年から明治9年にかけて福澤諭吉(1835-1901)によって17編刊行されました。全編平易な文章で簡潔にまとめられているため、出版当時大ベストセラーとなり、小学校の教科書としても用いられました。その後現在まで様々な異なる版が出されて、原文が読み継がれているだけでなく現代語訳も出版されています。初編は「天は人の上に人を作らず、人の下に人を作らず」という、天賦の人権について書き起こした有名な文章で始まります。

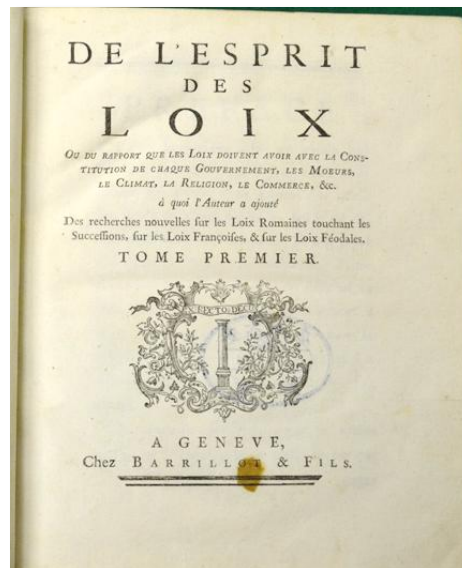
マルクス「資本論」



初版(仏語版)第1巻(1865-1867)

資本主義経済の歴史的特殊性と運動法則を科学的かつ徹底的に解明して19世紀後半以降の社会主義運動に圧倒的な影響を与え、またそれ以後の経済学・社会科学の研究にとって最も重要な道標となった記念碑的文献です。

モンテスキュー「法の本質」



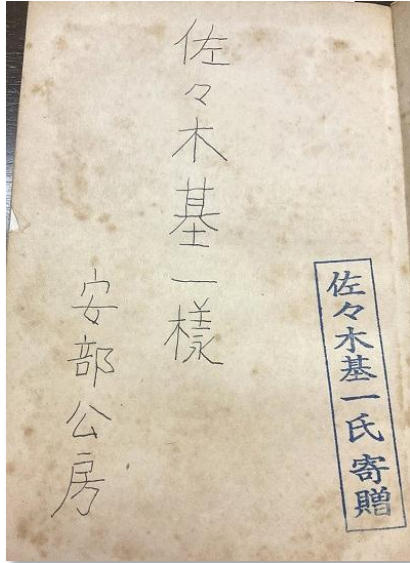
初版 全2巻(1748)
18世紀フランス絶対王政の衰退期に現れた、啓蒙思想家の不朽の名著。権力を分散させるとともに、分散された各権力による相互監視体制を提案、この考えは今日でも立法、行政、司法による「三権分立」をはじめ、各国の憲法において広く受け入れられています。

佐々木基一記念文庫

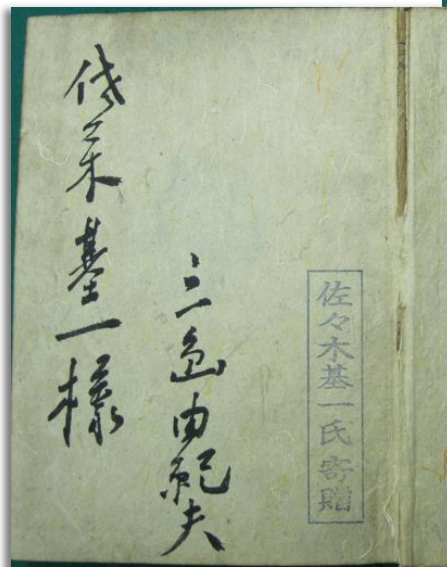
広島市生まれの作家・文芸評論家の佐々木基一氏旧蔵資料です。佐々木基一氏（本名：永井善次郎 1914-1993）は、東京帝国大学美学科卒業後、1946年に雑誌「近代

文学」を創刊。以後も中央大学に勤務しながら文芸活動を行いました。この記念文庫は、佐々木基一氏の著作や句帳で構成されています。なかでも、三島由紀夫「仮面の告白」、安部公房「無名詩集」、井上靖「蒼き狼」等、主要な戦後作家の署名入り献呈本等を多数含んでいることが特徴的で、戦後文学の貴重なコレクションとなっています。

安部公房「壁」



三島由紀夫「仮面の告白」



小泉八雲書簡 西田千太郎宛

「怪談」などで知られる作家ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）は、1890年、英語教師として島根県松江に赴任。西田千太郎はハーンの松江での生活を公私ともに支えた人物として知られています。昨年のNHK朝ドラ「ばけばけ」では吉沢亮さんが演じました。

二人の交流はハーンが松江を離れた後も1897年に西田が亡くなるまで続き、残された手紙からは、ハーンの西田への尊敬と信頼がうかがえます。当館では、本学の水畜産学部長を務めた西田の次男敬三氏によって寄贈された15通の手紙を所蔵しています。

「ヘルンの心～西田千太郎への手紙」（ジャパンサーチギャラリー）で、島根大学附属図書館と松江市立中央図書館所蔵の手紙とともにデジタル公開しています

ジャパンサーチギャラリー →

